

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和2・3年度）

【資料3(1)】

| | |
|------|---------------|
| 基本方針 | 生涯にわたるスポーツの推進 |
|------|---------------|

1 基本施策（計画掲載事項）

| | | |
|------|---------------------|--|
| 基本施策 | (1) 子どもの体力づくり | <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携して、幼児期における運動機会の創出と運動習慣の定着。 スポーツ少年団・部活動を通じて、楽しさや喜び、精神的充足や自主性、協調性を養い、運動習慣の定着と体力の向上につなげる。 |
| | (2) 働き手世代のスポーツ機会の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの年代に合わせたスポーツ機会の創出、充実を図るとともに、イベント情報などを積極的に提供。 スポーツ教室やイベントを開催し、生活習慣病予防を促進。 |
| | (3) 高齢者・障がい者スポーツの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携しながら、スポーツ機会の拡大を図るとともに、スポーツを通じた交流機会の拡充が図られるよう支援。 高齢者の体力づくりや生きがいづくりによる健康寿命の延伸。 |
| | (4) 競技力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と協力してスポーツクリニックの開催など一流選手に触れる機会を提供し、選手の意識と競技力を向上。 合宿誘致による市内中高生との合同練習や試合を通して、競技力を向上。 |

2 基本施策の進捗状況・実績

| No | 基本施策・主な事業 | 進捗状況・実績 | 施策進捗貢献度 |
|-----|---|--|---------|
| (1) | 子どもの体力づくり ・スポーツ教室開催事業 ・スポーツ少年団活動 ・スポーツ少年団運動適性テスト測定会 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちを対象に、スポーツ教室とジュニアスポーツ塾を開催し、スポーツに触れる機会の増加を図った。 令和2年度：スポーツ教室：4教室（7種目）、ジュニアスポーツ塾：12回 延べ234人参加 令和3年度：スポーツ教室：2教室（6種目）、ジュニアスポーツ塾：18回 延べ281人参加 大船渡市スポーツ少年団登録団体に運営費を助成し、子どもたちの受け皿となる団体の育成に努めた。 令和2年度：46団体、890千円 令和3年度：45団体、831千円 学校部活動が岩手県大会などへ出場する際に要する経費（移動費、宿泊費）に対して、補助を実施した。 令和2年度：中学校5校、424千円 令和3年度：中学校4校、1,246千円 スポーツ少年団運動適性テスト測定会は実施していないが、各単位団独自で「運動適性テストⅡ」を実施した。（令和2・3年度） | ○ |
| (2) | 働き手世代のスポーツ機会の拡充 ・市民体力測定会 ・ファミリーウォーキング ・学校体育施設開放事業 | <ul style="list-style-type: none"> 市民を対象とした市民体力測定会については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、出張測定会として実施した。 令和2年度：蛸ノ浦地区、15人参加 令和3年度：働く婦人の家、6人参加 一般を対象に、スポーツ教室と親子参加型イベント「ファミリーウォーキング」を開催した。 令和2年度：スポーツ教室2種目、ファミリーウォーキング1回 延べ148人参加 令和3年度：スポーツ教室3種目、ファミリーウォーキング1回 延べ134人参加 市内スポーツ施設及び学校体育施設をスポーツの場として提供することにより、スポーツ機会の確保を広く図った。 令和2年度：16施設、15校 令和3年度：16施設、15校 | △ |
| (3) | 高齢者・障がい者スポーツの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 岩手県障がい者スポーツ協会主催の卓球バレー大会や大船渡市老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会の開催に当たり、支援・協力した。 令和2年度：卓球バレー102人、グラウンドゴルフ157人参加 令和3年度：卓球バレー105人、グラウンドゴルフ132人参加 高齢者を対象とした生きがいセミナーにおいて、ニュースポーツを実施したことにより、生涯スポーツ振興の一助とした。 令和2年度：2回（盛、綾里）延べ40人参加 令和3年度：7回（大船渡、赤崎、日頃市、越喜来、吉浜）延べ149人参加 大船渡市老人クラブ連合会主催親睦交流大運動会及び気仙地区身体障がい者スポーツ交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせた。（令和2・3年度とも中止） | △ |
| (4) | 競技力の向上 ・全国大会等出場奨励事業 ・体育功労者等顕彰事業 ・スポーツ協会加盟団体活動支援事業 ・スポーツ合宿支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> 全国大会などに出場する選手、団体に対し、激励金を交付した。 令和2年度：6件、50千円 令和3年度：18件、250千円 本市の競技団体の発展に貢献あるいは国体などで優秀な成績を収めた個人・団体を表彰した。 令和2年度：4団体、10個人 令和3年度：6団体、19個人 スポーツ協会加盟団体の岩手県民体育大会の選手強化費及び派遣費を助成し、競技力向上と大会参加促進を図った。 令和2年度：冬季以外の競技は中止のため、出場したスキー協会のみ、94千円 令和3年度：22競技、1,625千円 元プロ野球選手による野球教室の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。（令和2・3年度） 本市においてスポーツ合宿を行う団体に対して、スポーツ合宿補助金を交付した。 令和2年度：3団体（延べ宿泊404人、508千円交付）うち1団体は、市内高校生と練習試合など交流を図った。 令和3年度：1団体（延べ宿泊106人、200千円交付） 令和3年度において、東京2020オリンピック陸上競技に出場した米国陸上代表コーチらとのオンライン交流会により、陸上に取り組む高校生に対して指導、助言を得た。（大船渡高校陸上部6人、大船渡東高校陸上部3人参加） | ○ |

（施策進捗貢献度の凡例）○＝貢献度が大きい / △＝貢献はしたものの貢献度はあまり大きくない / ×＝貢献できなかった

3 指標達成状況と進捗度評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | | 実績値 | | | | | 目標値 | | 達成率 | 達成率区分 |
|-------------------------|----|---------|---------|---------|----|----|----|---------|---------|------|-----|-------|
| | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R5 | R10 | | | | |
| 日頃から継続してスポーツを行っている市民の割合 | % | 15.5 | 15.2 | 13.5 | | | | 17.0 | 19.0 | 79.4 | b | |
| 市内スポーツ施設の利用者総数 | 人 | 276,006 | 209,345 | 226,638 | | | | 260,500 | 245,000 | 87.0 | b | |

| 進捗度評価 |
|-------|
| B |

※達成率＝目標年度の直前年度における実績値／目標値×100。達成率区分＝a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

4 課題

| 【課題】 |
|---|
| 子どもの体力低下と運動機会の創出 |
| 働き手世代を中心としたスポーツ機会の不足 |
| 高齢者・障がい者スポーツの環境づくり |
| 中高生を中心とした競技意欲・意識の向上につながる他地域との対戦・交流機会の増加 |
| 競技力向上のための指導者の育成・確保 |
| |
| |
| |
| |

5 施策・事業の方向性

| 【方向性】 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の進展など、スポーツ活動に取り組む子どもたちを取り巻く環境は変わってきており、こうした時代の変遷に則した在り方を検討しながら、スポーツ教室の開催やスポーツ少年団活動の育成に引き続き取り組む。 ・ 働き手世代を対象としたスポーツ教室、スポーツイベントなどの充実と情報発信を図る。 ・ 生活習慣病予防など、日常生活の中で体を動かす習慣化を図るため、介護予防や健康推進の取組との連携を深めつつ、市民の健康増進にもつながる事業を展開する。 ・ 高齢者・障がい者スポーツ関係者と連携を図り、スポーツに触れる機会の充実に取り組む。 ・ 各世代における生涯スポーツの振興を通じて、日頃からスポーツに親しむ市民の増加を図る。 ・ 新たにパンフレットを作成し、大船渡市スポーツ合宿支援補助金を活用したスポーツ合宿誘致を進める。合宿誘致により、市内中高生との積極的な対戦を促し、競技力の向上につなげていくことに加え、宿泊や観光展開など、交流人口の拡大を見据えた取組を推進する。 ・ 東京2020オリンピックレガシー継承事業や大船渡アスリート応援団の取組などにより、トップアスリートの専門性の高い指導などに触れる機会を提供し、競技力向上につなげる。 ・ 各競技団体などと連携し、指導者確保に取り組むとともに、指導者を対象とした研修会の開催や認定指導者資格取得のための助成などを通じて、指導者の更なる育成・充実を図る。 ・ コロナ禍における新たな生活様式下で、各種大会（イベント）の再開（見直し、再構築含む）に向けて取り組む。 |

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和2・3年度）

【資料3(2)】

| | |
|------|------------------------|
| 基本方針 | スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進 |
|------|------------------------|

1 基本施策（計画掲載事項）

| | | |
|------|-------------------|--|
| 基本施策 | (1) スポーツによる交流の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 市民体育大会など市民がスポーツに親しむ機会の創出を図り、市民間の交流機会の拡充を促進。 横断的な連携を図りながら、合宿、イベントの誘致を進め、地域経済の活性化とにぎわいを創出。 BMXなど次世代スポーツイベントの開催・支援や、スポーツアクティビティによる地域活性化の推進。 |
| | (2) 地域でのスポーツ活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 在り方が大きく変化する地域コミュニティに対し、スポーツ・レクリエーション活動を通じた新たなコミュニティの形成を支援。 スポーツ推進委員の派遣により、地域における自発的なスポーツ・レクリエーション活動を支援。 |
| | (3) 近隣自治体等との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 新たな大会などの誘致に向けた近隣自治体との連絡体制の構築。 利用者ニーズや利用形態に合わせた施設の補完・相互利用を促進。 スポーツに関する様々な情報を幅広く提供できるよう、関係団体などと連携。 |

2 基本施策の進捗状況・実績

| No | 基本施策・主な事業 | 進捗状況・実績 | 施策進捗貢献度 |
|-----|---|---|---------|
| (1) | スポーツによる交流の促進 ・市民体育大会 ・大船渡新春四大マラソン大会 ・大船渡ポートサイドバレーボール大会 | <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会・イベントが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けた。こうした中であっても、市民体育大会を開催し、各般の交流促進を図った。 令和2年度：8種目で開催（6種目が中止）延べ612人参加 令和3年度：9種目で開催（4種目が中止）延べ666人参加 令和2年度においては、主要事業である大船渡新春四大マラソン大会及び大船渡ポートサイドバレーボール大会、復興「ありがとう」ホストタウン事業の3x3バスケ大会は、いずれも中止となった。→令和3年度においても、大船渡新春四大マラソン大会及び大船渡ポートサイドバレーボール大会は中止。 気仙地区身体障がい者スポーツ交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせた。（令和2・3年度） 令和2年度においては、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催延期を受け、関連事業のほとんどを中止又は延期にするなど、実施時期・内容などを大幅に見直した。 令和3年度においては、東京2020オリンピック・パラリンピックに係る復興「ありがとう」ホストタウン交流事業の一環として、次の取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック聖火リレー（ランナー：11人、最終ランナーは栗生澤淳一氏） 東京2020オリンピックから採用された3x3バスケットボール競技大会（一般の部：6チーム、中学生の部：3チーム） 東京2020オリンピック陸上競技に出場した米陸連代表コーチと選手による市内高校陸上部とのオンライン交流会（大船渡高校陸上部6人、大船渡東高校陸上部3人参加） 音楽を通じた米国との国際交流促進のための在日米陸軍軍楽隊七タコンサート 令和3年度において、大船渡アスリート応援団を設置（令和3年10月）して当市ゆかりのアスリートをめぐる次の取組を実施し、スポーツ振興のみならず、多様な交流促進の契機とすることができた。 <ul style="list-style-type: none"> 専用ツイッターアカウントを中心とした応援メッセージの発信 ゆかりのアスリートの発掘 公認アスリートの選定（公認アスリート：6人） 市外の団体が市内でスポーツ合宿を実施したことにより、スポーツによる交流促進の新たなスタイルを示すことができた。 令和2年度：4団体、延べ宿泊者404人（うち3団体は本市スポーツ合宿支援補助金を活用）、508千円交付 令和3年度：1団体、延べ宿泊者106人、200千円交付 甫嶺復興交流センター等のスポーツアクティビティについて、以下の取組が、地域活性化などにもつながっている。 甫嶺復興交流推進センターを開所（令和2年10月）したほか、合同会社T X Fが、三陸BMXスタジアム（レーシングコース他）を整備した。（センター利用者：1,013人、スタジアム来場者：8,074人）（令和2年度） 令和3年度は、三陸BMXスタジアム（レースコース・室内パーク）において、BMX国内トップアスリートによるレースや体験会などを開催した。（センター利用者数：4,945人 スタジアム利用者・来場者：13,781人） 市内で行われているスポーツ・アクティビティや体験プログラムなどのサービス情報を発信するプラットフォーム（ホームページ）の構築に向けた取組を進め、令和3年度は甫嶺復興交流推進センターを中核に、市内で行われているスポーツ・アクティビティや体験プログラムなどのサービス情報をSNSを活用しながら情報発信した。 スポーツ系体験プログラムとして、ダイビング体験とパークゴルフ体験を実施した。（令和2年度：延べ3,984人参加） 令和3年度においては、三陸ボランティアダイバーズにおいて、スポーツ系体験プログラムとして、ダイビングライセンス講習、藻場再生活動ボランティア体験のほか、三陸水中フォトコンテストを実施した。（三陸ボランティアダイバーズ利用者数：440人） みちのく潮風トレイルの整備ボランティア事業と親子ハイキングイベントを実施した。（令和2年度：延べ22人参加） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> コロナ禍で大船渡新春四大マラソン大会、大船渡ポートサイドバレーボール大会など予定していたイベントが実施できなかった。しかしながら、このような状況下であっても、東京2020オリンピック関連事業のほか、大船渡アスリート応援団に関連する新たな取組に着手するなど、多様な形で交流促進の契機とすることができた。 </div> | ○ |
| (2) | 地域でのスポーツ活動の推進 ・スポーツ推進委員設置運営事業 ・地域公民館対抗卓球大会 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市スポーツ推進委員の活動のほとんどが中止となった。（令和2年度） 地域公民館対抗卓球大会についても、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。（令和2・3年度） 令和3年度は、再開されたスポーツイベント（ファミリーウォーキング、ニュースポーツフェスティバル、卓球バレー大船渡さんまカップ）にスポーツ推進委員を派遣し、活動支援を行った。（延べ29人派遣） 日頃市地区における、既存のスポーツ・レクリエーション活動の見直し策を含めた地区づくり計画の作成とそれを実践する地区運営組織の構築に係る取組を支援した。（令和2年度） 日頃市地区において、「ひころいち町まちづくり推進委員会」が設立されたことを受け、スポーツ・レクリエーション活動を始め、「ひころいち地区づくり計画」に基づく活動の実践を支援するため、地区づくり補助金を交付した。（令和3年度） | △ |
| (3) | 近隣自治体等との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策に係る情報共有などを適宜行っているが、連携体制の構築までは至っていない。（令和2・3年度） 大船渡アスリート応援団において、当該応援団の構成メンバーである、市スポーツ協会や大船渡商工会議所、市観光物産協会のほか、首都圏さんりく大船渡人会と連携し、関連する取組を進めた。（令和3年度） | △ |

（施策進捗貢献度の凡例）○＝貢献度が大きい / △＝貢献はしたものの貢献度はあまり大きくない / ×＝貢献できなかった

3 指標達成状況と進捗度評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 | | | | | 目標値 | | 達成率 | 達成率区分 |
|-------------------------|----|-------|-----|----|----|----|----|-------|-------|-----|-------|
| | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R5 | R10 | | | |
| 大船渡新春四大マラソン大会の参加者数 | 人 | 1,656 | 0 | 0 | | | | 1,700 | 1,800 | 0.0 | d |
| 大船渡市スポーツ合宿支援補助金の対象団体、人数 | 団体 | 0 | 3 | 1 | | | 3 | 5 | 33.3 | d | |
| | 人 | 0 | 115 | 53 | | | 60 | 100 | 88.3 | b | |

| 進捗度評価 |
|-------|
| C |

※達成率＝目標年度の直近年度における実績値／目標値×100。達成率区分＝a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

4 課題

| 【課題】 |
|---|
| コロナ禍における新たな生活様式下でのスポーツイベントの開催（再開） |
| スポーツ合宿誘致における他自治体ほか関係機関との連携強化 |
| BMXなどスポーツ・アクティビティの取組を通じた交流の創出 |
| 地区におけるスポーツ・レクリエーション活動推進のためのニーズ把握 |
| 近隣自治体との連携による施設の相互・有効利用 |
| スポーツによる交流促進の重要なツールとなる本市にゆかりのあるアスリートとの関係強化 |
| 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー継承 |
| |
| |

5 施策・事業の方向性

| 【方向性】 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・大船渡新春四大マラソン大会については、市制施行70周年記念事業として実施（令和4年度）することとし、内容の充実に加え、参加申込における利便性向上（オンライン申込を導入）とさらなる大会認知度の向上を図る。 ・スポーツ合宿誘致については、新たに誘致用パンフレットを作成するとともに、交流人口の拡大と市内中高生の競技力向上に資する取組を連動させながら推進する。 ・甬嶺復興交流推進センターの受け入れ強化やBMXを始めとするスポーツ・アクティビティ事業を展開しながら、PR活動及び集客活動を推進するとともに、市内民間スポーツ施設との連携を図る。 ・地区・地域でのスポーツ活動については、各地区などの状況を踏まえながら、スポーツ・レクリエーション活動を含めた地区づくりを支援していく。 ・スポーツ合宿誘致、施設の有効活用などに関する取組をベースとして、近隣自治体との連携体制構築に向けて検討する。 ・大船渡アスリート応援団の取組として、市制施行70周年を記念（令和4年度）し、岩手県との連携による「千葉ロッテマリーンズ協賛試合」を実施することにより、スポーツとシティプロモーションの振興を図る。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、3x3バスケットボール競技大会などのスポーツイベントを継続実施することで、事業効果の定着と浸透を図る。 |

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和2・3年度）【資料3(3)】

| | |
|------|-----------------------|
| 基本方針 | 市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実 |
|------|-----------------------|

1 基本施策（計画記載事項）

| | | |
|------|-------------------------|--|
| 基本施策 | (1) スポーツを「ささえる」人材の育成・充実 | <ul style="list-style-type: none"> 大船渡市スポーツ協会と連携し、指導者養成講習会などへの参加を促進しながら、指導者の育成・充実を図る。 スポーツ推進委員の資質向上や関係団体と連携し、支援を必要とする人々のスポーツ推進体制を整備。 講習会への参加促進を通じて、障がい者スポーツを支える指導者・ボランティアを育成。 |
| | (2) スポーツ施設・設備の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> 人口減少や利用ニーズ、財政状況などを踏まえながら、施設・設備を計画的に整備。 既存施設は長寿命化を基本とし、計画的に修繕を行うとともに、更新施設は必要性や将来への負担を十分考慮して検討。 国の支援制度などを活用し、バリアフリー化など計画的に整備。 |
| | (3) スポーツ施設等の有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の利用者増加や効果的な運営が行われるよう指定管理者と連携を深める。 施設利用料の定期的な見直し。 学校施設の利用促進と廃校となった学校体育施設の有効活用について、地域住民などと検討。 |

2 基本施策の進捗状況・実績

| No | 基本施策・主な事業 | 進捗状況・実績 | 施策進捗貢献度 |
|-----|---|--|---------|
| (1) | スポーツを「ささえる」人材の育成・充実 <ul style="list-style-type: none"> 認定指導者助成事業 スポーツ少年団指導者研修会開催事業 スポーツ推進委員研修会派遣事業 | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、認定指導者（現在は、「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」に移行）助成事業やスポーツ少年団指導者研修会開催事業、スポーツ推進委員研修会派遣事業など、スポーツ指導者の育成機会・事業のほとんどが中止となった。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、岩手県及び東北地区におけるスポーツ推進委員研修会は中止となったが、スポーツ少年団指導者研修などについては再開されたことから、以下の取組を行った。 <ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団の活動の活性化と普及拡大を推進するため、スポーツ少年団スタートコーチ資格取得者の受講料を助成した。（受講者：24人） スポーツ少年団の指導者や育成会を対象に、「スポーツ傷害予防とコンディショニング」をテーマとした研修会を開催し、体力づくりやトレーニングなどに関する知識を深めた。（参加者：39人） | △ |
| (2) | スポーツ施設・設備の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設整備事業 | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては、大船渡市スポーツ施設整備基本計画の策定により、効果的・効率的な施設マネジメント推進のための方針・方向性を明らかにした。 以下の取組により、スポーツ環境の改善を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 三陸総合運動公園屋外トイレ設置工事を実施した。（41,961千円） 赤崎グラウンド及び市民テニスコート照明LED化工事を実施した。（39,441千円） 市営球場法面の支障木伐採業務を実施した。（1,145千円） 令和3年度は、大船渡市スポーツ施設整備基本計画を踏まえ、施設別工程表を作成し、詳細な調査・検討などを推進した。 以下の取組により、スポーツ環境の改善を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 市営球場ウォーニングゾーン・芝段差修繕（2,717千円） 三陸B&G海洋センターアリーナ照明LED化（1,837千円） 三陸B&G海洋センタートイレ改修（洋式化）（4,593千円） | ○ |
| (3) | スポーツ施設等の有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度において、以下の取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 盛川河川敷公園の利用料を改定した。 「大船渡市立小・中学校施設の閉校後の利活用に関する基本方針」を定める（令和2年10月）とともに、旧日頃市中学校施設の利活用を含む日頃市地区の地区づくり計画の作成に係る取組を支援した。 令和3年度において、以下の取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の管理・運営については、事業実施体制の見直し、効率化などを進め、指定管理料及び事業運営補助金の適正化を図った。 ひころいち町まちづくり推進委員会から市に提出された「旧日頃市中学校施設の利活用に係る要望書」を踏まえ、当該委員会と協議・検討を進めたほか、市内における利活用意向の取りまとめや協議を行った。 旧日頃市中学校について、第一中学校改築工事着工後、部活動の代替場所として屋内外運動場を活用した。 | ○ |

（施策進捗貢献度の凡例）○＝貢献度が大きい / △＝貢献はしたものの貢献度はあまり大きくない / ×＝貢献できなかった

3 指標達成状況と進捗度評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | | 実績値 | | | | | 目標値 | | 達成率 | 達成率区分 | 進捗度評価 |
|-----------------------|----|------|------|------|----|----|----|------|------|-------|-----|-------|-------|
| | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R5 | R10 | | | | | |
| 市が主催するスポーツ指導者講習会の参加者数 | 人 | 30 | 0 | 24 | | | | 35 | 40 | 68.6 | c | B | |
| スポーツ施設利用の満足度 | % | 19.0 | 18.7 | 23.3 | | | | 21.0 | 23.0 | 111.0 | a | | |

※達成率＝目標年度の直前年度における実績値／目標値×100。達成率区分＝a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

4 課題

| 【課題】 |
|-------------------------|
| スポーツ指導の新たな状況に対応可能な人材の確保 |
| 学校部活動地域移行への対応 |
| スポーツ施設の利便性や機能性の向上 |
| 指定管理者制度によるスポーツ施設の効果的な運営 |
| 閉校した学校体育施設の利活用 |
| |
| |
| |

5 施策・事業の方向性

| 【方向性】 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> スポーツを「ささえる」人材への関心が高まり、求められる指導者の在り方が多様化するとともに、学校部活動の段階的地域移行が進むなど、新しい状況に対応することができるよう、研修会などを通じた人材育成に取り組む。（岩手県の委託事業として、地域部活動の実践についてモデル的に取り組む） 部活動地域移行の受け皿となり得る組織の一つとして、総合型地域スポーツクラブの運営支援を行う中で、人材育成などにも取り組んでいく。 大船渡市スポーツ施設整備基本計画を踏まえ、施設の長寿命化を基本とするものの、人口動態や財政状況によっては、集約化や複合化、廃止なども見据えつつ、各般の調査・研究を実施しながら整備スケジュールなどを検討し、計画的に施設整備・改修などに取り組み、スポーツ環境とスポーツ施設利用満足度の向上を図る。 指定管理業務について、モニタリング調査などと連動させ、コスト意識をより高めつつ、利用者ニーズに即した業務の推進を図る。 旧日頃市中学校施設の利活用については、地区及び関係者との詳細協議を進める。 |